



2017-2018 年度 会長:立花 徳久 会長エレクト:三田 望 幹事:阿部 一郎  
 例会日:毎週火曜日 12:30~13:30 会場:ホテル花巻 0198-22-2333  
 事務局:〒025-0075 岩手県花巻市花巻町 10-27 花巻商工会議所内 0198-41-1133  
 Mail: [hrc@hanamaki-cci.or.jp](mailto:hrc@hanamaki-cci.or.jp) URL <http://www.hanamaki-rc.com>

2017-2018 年度 RI テーマ

**1 月 RI 月間テーマ「職業奉仕月間」**  
**第 3078 回例会/No.28 2018 年 1 月 25 日**  
 花巻市内 3RC 合同夜例会・新年会 in グランシエール花巻

◆例会プログラム

1. 開会点鐘
2. 国歌斉唱
3. ローターソング斉唱
4. 会長の時間
5. 四つのテスト
6. 御来賓・ゲスト紹介
7. 主催会長の時間
8. ご来賓祝辞
9. 閉会点鐘

◆幹事報告

- ・ローターリーダーシップ研究会(RLI)パートⅢのご案内 [ガバナー事務所]
- ・ハイライトよねやま Vol.214[(公財)ローター米山記念奨学会]
- ・RI 人頭分担金について [国際ローター日本事務局]
- ・ローター用品カタログ [㈱フジマキネクタイ]

◆第 3077 (1/16) 例会の概要

■会長の時間「25 回/48 回」立花 徳久 君



こんにちは。昨日は盛岡で私達業界の新年会があり、盛岡に一泊しホテルから見学先のイーエヌ大塚製菓(株)さんへ出勤しました。イーエヌ大塚製菓(株)さんのクリーンで綺麗な工場には、本当にびっくりし素晴らしいと感じました。

各製造ラインは職員一人だけの配置で運行されており、人数を抑えることでほこり等の発生心配も少なく、また自動化することで人が対応するよりも正確な作業が可能になると認識しました。びっくりしたことは、トレーに製品が残った場合を考えて、それを発見するためのラインが配置されていることです。人が出来る事を全て機械が検知することで労働力の軽減を図り、間違いを発生させないためにはラインが必要なのかなと思いました。

作業工程が更に進み機械が従来の人の仕事を代行する中で、はたして人には何が出来るのだろうか？人は感情、体調にも左右されるので、仕事を行う上で良い時もあり、悪い時もあり、そのことは機械と違い人間の特性としてやむを得ないとも感じました。いろいろと考えさせられました。

私達の自動車業界では自動運転の研究がどんどん進んでいます。最近、トヨタが進めているサービスに「マイカーを減らす:カーシェアサービス(車を所有するのではなく使いたい時に使いたいだけ利用する)」という取組があります。

花巻市ではデマンド交通というサービスを開始しておりますが、トヨタでは人を乗せて自動運行させる方法を検討しているようです。タクシー業界にとって大きな脅威になることが予想されますが、但し、乗車対象者は健常者のみです。体が不自由な方は付き添いがないと利用できず、その点が解決されない限り進めることは難しいと考えております。一方、将来的にはタクシーをスマホで予約し、自動運行で目的地まで到着しキャッシュレスで代金決済を行うといった人との触れ合いが無い乗車方法の導入が予想されます。更にタクシー業界のみならず行政運営のデマンド交通でも同乗車方法の導入が予想されます。

現時点で花巻市のデマンド交通の取組みは岩手県市町村の中で最も進んでおり、本数、コースとも多岐にわたる内容と

なっております。そして、今年の 10 月からは大迫地区でデマンド交通の導入を予定しております。背景は路線バスの廃止により交通手段が無くなるため、花巻市からは代替え交通手段としてタクシー業界のジャンボタクシー等を利用できないか打診が来ております。現在、検討中ではありますが、組合が一括契約する方向で検討を進めております。デマンド交通は基本的には過疎地での運行が主となっており、採算面を考えると解決すべき課題も多々あります。これからは、岩手県のみならず全国各地でデマンド交通のような交通手段が検討されてくると思います。但し、体が不自由な方は従来どおりタクシーを検討して頂く形となります。各タクシー会社協力のもと、業界全体でデマンド交通に対応して参ります。本日、イーエヌ大塚さんの工場を見学してきて、大変勉強になりました。私の父も遺漏を経て通常の食事を自力でとれるまで回復した経験があります。今日、イーエヌ大塚さんで商品を試食させていただきましたが、味も素材もしっかりしており、美味しく頂きました。今日はありがとうございました。

◆職業奉仕月間に寄せて  
 職業奉仕大委員長 滝田 吉郎 君

■職業奉仕大委員長 滝田 吉郎 君



みなさん、先程は工場見学ご苦労様でした。最初は今月が職業月間ということで、日本のローターでは職業奉仕が 5 大奉仕部門のなかで上位に位置しているという考え方・理念がありますが、世界的には 5 大奉仕の各部門は全てボランティアに近いという考え方もあり、この

あたりの各国の考え方の相違について話そうかなと思っておりました。一方、昨年 11 月に橋川君へ工場見学をお願いしておりましたが、丁度年明けの 1 月が職業奉仕大委員長の担当月でもあることから、本日の工場見学を職業奉仕事業として実施する運びとなりました。花巻市に在住の方でも、イーエヌ大塚さんといえば、オロナミン C、ポカリといったイメージがありますが、実は医薬品経腸栄養剤の製造工場です。そして同分野においては日本のシェアの 50% を占めております。本日は工場見学後の更に詳しい部分について、橋川君から説明していただければと思います。また、工場見学に行けなかった方々は資料を用意しておりますので、参考にして頂ければと思います。今日は宜しくお祈りします。

■イーエヌ大塚製菓(株)花巻工場見学 橋川 秀治 君

今日は工場を見学して頂きましたが、製造していた製品はラコール(半固形)という栄養剤です。普通、栄養剤は液体ですが、寝ている方に液体で投与すると逆流してしまい、そこでゆっくりと投与すると 4~5 時間位かかってしまいます。病院では看護師さんと栄養士さんが寒天で固めてシリンジで投与する等、

非常に負担がかかっていたことから何とか出来ないかと、開発されたのが「ラコール(半固形)」です。ラコールを胃瘻により投与する場合は 5~10 分で対応できます。先程、国内のシェアの 50% を占めているとお話しましたが、そのうち 80% が在宅介護向けです。ラコール半固形は私が研究所長時に開発した製品であり、第三工場は工場長の時に設計した工場です。非常に思い入れが深い製品かつ工場です。

最初に当社の前身である雪印と花巻との関わり合いからお話させていただきます。~一部省略、概略のみ~

雪印はもともと酪農家の組合として立ち上がった会社です。雪印が本州に進出したのは 1952 年です。岩手からの熱心な企業誘致を受けて拠点づくりが始まりました。北海道大学と岩

手はつながりが強く、北海道の会社の最初の進出地として岩手(花巻)が選ばれたというふうに聞いております。また、豊沢川の水が非常に美味しかったことも岩手に進出した一因と言われております。その後、花巻市が工業団地をつくる際に雪印へも声をかけて頂き、1993年に雪印乳業(株)岩手医薬品工場として今日見学した工場地へ進出しました。最初は「ツインライン」という苦くて臭い消化態栄養剤の製造を始めました。続いて1999年に現在主力製品の「ラコール」の製造販売が始まり、増産の為に人員募集があり、私が手を挙げて花巻に来たのが2000年です。丁度この年と2002年に雪印食中毒事件、雪印食品牛肉偽装事件が発生した為、雪印が解体される状況に陥りました。その時(2002年)設立されたイーエヌ大塚製薬(株)が雪印乳業(株)から岩手医薬品工場を承継しました。新会社は雪印から切り離され、多額の負債を抱えての不安のスタートでした。当時、花巻で勤務していた研究者の多くは製薬会社等に転職していきました。私にも声はかかりましたが、売上が伸び、若手社員も入社しており、留まることにしました。そのおかげで、今日、こうやって皆様の前でお話することが出来、業績も現在好調に推移しており、当時の判断は間違っていなかったと思っております。

当社の従業員は347名となっております。大塚グループは



国内に33社、海外に99社があり、グループ全体で5万人程の社員が在籍しておりますが、当社は(株)大塚製薬工場の子会社として位置づけられております。イーエヌ大塚製薬(株)の企業理念「栄養を科学的に探究、検証し、それらを活かした製品開発を通じて安心で優れた製品と情報を提供致します」企業ビジョン「エビデンスに基づく栄養ケアのための製品および情報を提供し医療及び介護に貢献します」「病気の方・高齢の方へ食べる楽しみを提供し、活き活きた生活を応援します」のもと製品開発を進めております。この企業理念・ビジョンには2代目の社長石垣孝樹氏の思いが込められています。施設に母の見舞いに行った時、チューブに繋がれた多数の入所者の姿を目のあたりにし「これでいいのか。人が最後まで口から食べて元気に生きるのが目指す未来じゃないのか」と心に誓い、エビデンスに基づいて食べる喜びを提供することを使命とする会社となりました。

この実現にむけて研究を進め、その世界を引き寄せようと当社のビジョンを最も体現した商品が摂食回復支援食「あい〜と」です。まだまだ、値段をはじめ、流通等、多くの問題点を抱えておりますが、解決にむけて日々研究開発を進めております。高齢化に悩んでいるのは日本だけではなく、東アジア、中国等の国々でも日本より早いスピードで高齢化が進んでおります。現在、韓国向けに輸出している商品「ENCOVER」は、昨年計画の2倍の売上となり、市場の拡大を実感しております。

当社の工場は製品を使用した後の廃棄や環境面も考えてアルミパウチを採用しております。昨年、お客様からの苦情へ真摯に対応したところ、「貴社の企業理念に嘘偽りはなかった」と、お褒めの言葉を頂き感動しました。これからも頑張っ



## ◆出席報告

31人中 15人出席  
出席率 55.5% 前回修正 59.2%

### ◇メーキャップ

1/13、14(日)青少年長期・短期合同オリエンテーション 佐々木 史昭君

## ■ニコニコBox

**<立花 徳久 君>** 本日はイーエヌ大塚様の工場見学、大変ありがとうございました。橋川君の人柄の様に、すごくクリーンで素晴らしい工場でした。試食美味しかったです。

**<阿部 一郎 君>** イーエヌ大塚の企業訪問、非常に参考になりました。何か設備上お手伝いできる所がないかを見せて頂きましたが、大きすぎて手の出しようがありませんでした。最後にいただいたあい〜との味は、ぐんばつに良かったです。企画いただいた滝田大委員長、受け入れていただいた橋川君、ありがとうございました。

**<鹿討 康弘 君>** 橋川君、本日は工場見学を受入れて頂き誠にありがとうございました。とても興味深く説明を聞かせて頂きました。摂食回復支援食「あい〜と」とは「Teat」=自ら食べるという意の造語だと書いていました。試食させて頂き、自然と笑顔になりました。私がお世話になる時にはもう少しコストダウンして頂ければ毎食でも食べたいと思いました。

**<高橋 豊 君>** EN大塚製薬さんを見学させて頂き、大変勉強になりました。橋川さんありがとうございました。久しぶりの企業訪問でしたが、これからも好奇心を失わず機会を見つけて歩き回りたいと思います。

**<稲田 典之 君>** 還 EN大塚製薬様への職場訪問させていただき、ありがとうございました。橋川君と社員の皆様に感謝いたします。

**<佐々木 史昭 君>** 先週、土、日に地区青年委員会の長期4名、オクラホマ11名、派遣生合計26名、インバウンド受入生4名含め計30名のオリエンテーションを行いました。私もオクラホマの団長をあずかり、緊張感をもって取り組ませていただきました。

**<滝田 吉郎 君>** 橋川君、今日の工場見学快く受けていただきありがとうございました。今後、イーエヌ大塚様の益々の発展をお祈りいたします。

**<伊藤 誠一郎 君>** 今日は橋川さんありがとうございました。とても勉強になりました。また、私事ですが、10年に1回なぜかできる「ふんりゅう」になりまして、今治療中です。

**<橋川 秀治 君>** 本日はイーエヌ大塚製薬花巻工場にお越しいただき、ありがとうございます。色々なアイデアを頂き、刺激を受けました。謝礼を頂きましたが、社内規定で頂けませんのでBOX致します。ありがとうございました。

**<谷村 仁 君>** 橋川さん、本日は会社見学をさせていただき大変ありがとうございました。また、美しい試食をいただき感謝しております。話には聞いておりましたが、見た目、美しさに驚いています。今日は岩洞湖のワカサギ氷上釣りが解禁となり、週末にはなんとか行きたいと思えます。

**<藤田 勝敏 君>** 橋川さん、工場見学ありがとうございました。ついつい、銀行目線で拝見してしまいました。成長産業と思えました。それにしても、凄い設備投資です。

## ◆第3077回例会のメニュー

『ひじきと野菜の豆腐、木の子あんかけ』



## ◆今後のプログラム

《イーエヌ大塚さんで記念撮影》

- 1/30(火) 会員卓話 担当 谷村 繁 君
- 2/6(火) クラブフォーラム RI創立記念日に因み  
米山奨学金贈呈 米山奨学生 コウ・シハイさん
- 2/13(火) 会員卓話 担当 副会長 鹿討 康弘君  
ゲスト/長期青少年交換性 カーラ・リリーさん

### クラブ会報委員会

委員長:藤田 勝敏 (今回担当) 副委員長 横田 裕之  
AD:橋川 秀治 鹿討 康弘